

QCon^{Lite}

USB-MIDI Controller Station

モーター式フェーダー内蔵、音楽制作用
MIDI/オーディオコントロールサーフェス





警告

電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。この取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

ICON製品は安全に十分配慮して設計されています。しかし、電気製品はすべて、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故になることがあり危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

安全のための注意事項を守る

この取扱説明書の注意事項をよくお読みください。製品全般の注意事項が記載されています。

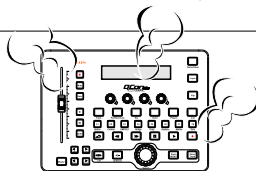
故障したら使わない

本体やACパワーアダプター、充電器などの動作がおかしくなったり、破損しているのに気づいた場合はすぐにお買い上げ店またはアイコンサービス窓口へ修理をご依頼ください。

万一、異常が起きたら

- ① アイコンサービスセンター
- ② USBケーブルを抜く
- ③ お買い上げ店またはアイコンサービス窓口へ修理を依頼する

変な音・
においがしたら、
煙が出たら



警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電・破裂などにより死亡や大けがなどの人身事故が生じることがあります



注意

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の器具に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す
記号



行為を禁止
する記号



行為を指示
する記号



警告

火災

感電



下記の注意事項を守らないと火災・感電により死亡や大けがの原因となります。

分解や改造をしない

火災や感電の原因となります。絶対に自分で分解しないでください。内部の点検や修理はお買い上げ店またはアイコンサービス窓口にご依頼ください。

内部に水や異物を入れない

水や異物が入ると火災や感電の原因となります。この機種は防水構造にはなっていませんので、水中や雨天での使用はできません。万一、水や異物が入ったときは、すぐにスイッチを切り、ACパワーアダプターや充電器をコンセントから抜いてください。電池を使用している場合は、すぐに電池を取り出してください。そして、お買い上げ店またはアイコンサービス窓口にご相談ください。

雷が鳴りだしたら、使用しない

遠くで雷が鳴りだしたときは、落雷を避けるため、すぐにご使用を中止してください。屋外で使用時は、安全な場所へ避難してください。

持ち運びのときに振り回さない

ショルダーベルトやハンドストラップに手を通したまま本体を固定しないで持ち運ぶと、本体に衝撃を与えたり、ドアにはさまったりして故障やけがの原因となります。持ち運ぶときは、手でおさえるか、ポケットに入れるなど固定してください。

電源コードを傷つけない

電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となります。・電源コードを加工したり、傷つけたりしない。・重いものをのせたり、引っ張ったりしない。・熱器具に近づけない。加熱しない。・電源コードを抜くときは、必ずプラグを持って抜く。万一、電源コードが傷んだら、お買い上げ店またはアイコンサービス窓口に変換をご依頼ください。



注意

下記の注意事項を守らないと**けが**をしたり**周辺の家財に損害**を与えたりすることがあります。

湿気やほこり、油煙、湯気の多い場所では使わない

上記のような場所で使うと、火災や感電の原因となることがあります。

長期間使用しないときは、電源をはずす

長期間使用しないときは電源コードやバッテリーをはずして保管してください。火災の原因となることがあります。

コード類は正しく配置する

電源コード、AVケーブルやUSBケーブルを抜くケーブルは足に引っかけると製品の落下や転倒などによりけがの原因となることがあるため、十分注意して接続・配置してください。

内容

はじめに	1
付属品をご確認ください	1
機能	2
上面パネルレイアウト	3-5
サイドパネルのレイアウト	6
使用法	
Qcon Lite コントローラの接続	6
Mac OS XにiMap™をインストールする	7
WindowsにiMap™をインストールする	7-8
iMap™上でMIDI機能を指定する	9
iMap™ Qcon Liteソフトウェア・パネル	9-10
ファームウェアのアップグレード	11
デフォルト工場設定に戻す	11
接続方法	12
製品仕様	13
修理について	14

はじめに

ICON Qcon Lite MIDI/オーディオコントロールサーフィスをお買い上げいただき、ありがとうございます。弊社はお客様に本製品を末永く御愛用いただけるものと確信いたしておりますが、万一お客様にご満足いただけない場合でも、ご満足いただけるよう努めて参ります。

本書には、Qcon Lite MIDI/オーディオコントロールサーフィスの特徴、フロントパネル、サイドパネルの詳しい解説と、設定方法、使用方法、そして主要諸元が記載されています。

また、同梱の製品保証書にご記入の上投函していただきますと、www.icon-global.comにてオンラインサポートをご利用いただけるようになります。保証書のご送付後には、本製品のほか、ICON 製品に関する最新情報をお届けします。他の電子製品と同様、本製品につきましても御購入いただきました際の梱包材一式を保管していただきますようお願い申し上げます。万が一修理のため本製品を弊社に返送していただく必要がある場合は、製品ご購入時の梱包材（あるいはそれと同等の梱包材）が必要となります。

本製品は、適切に整備・お手入れをしていただければ、故障することなく末永くご利用いただけます。後日照会させていただくため、シリアルナンバーを下欄に控えていただけますよう、お願い申し上げます。

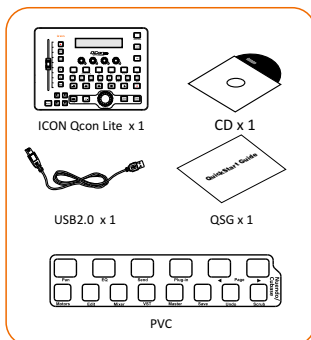
照会用シリアルナンバー：

ご購入店舗名：

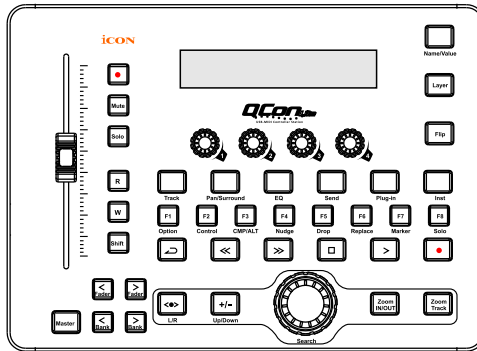
ご購入日：

付属品をご確認ください

- Qcon Lite USB MIDコントローラー X1個
- クイックスタートガイド X1冊
- ソフトウェアCD X1個
- USB 2.0ケーブル X1本
- 各種DAWのためのPVC オーバーレイ



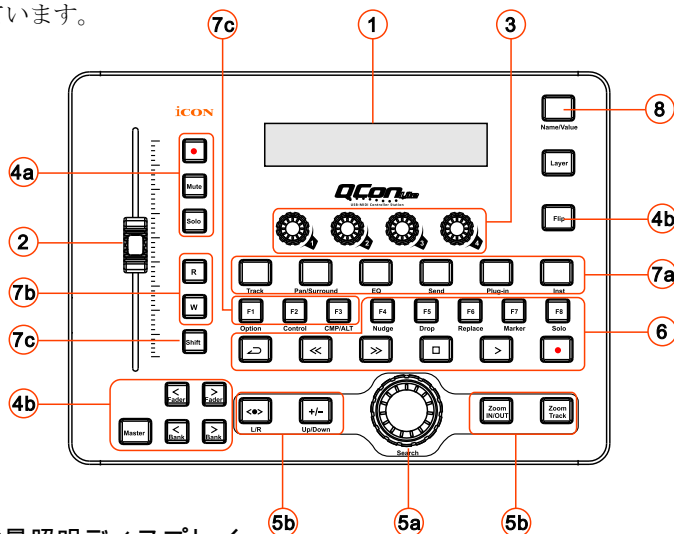
機能



- 100mmタッチ・センシティブ・モーター式チャンネル/マスター・フェーダー、1個
- デュアル機能エンコーダーつまみ（入力して回す）4個
- 各チャンネルのチャンネル名やコントロール値を表示する背景照明式大型LCD
- 高速検索およびコントロール用ジョグホイールシャトル
- 録音起動、ソロ、ミュートを含む、各チャンネル用照明式ボタン
- 再生、停止、録音、巻戻し、早送り、ループを含む、照明式トランスポートボタン6個
- 照明付き機能ボタン16個
- 割当可能な照明式MIDI機能ボタン8個(F1-F8)
- モーター式フェーダーを別のチャンネルにシフトする照明付きフェーダー・ボタン2個
- 8個のチャンネルを上下に切り替える照明式「Bank」ボタン、2個
- MacBook Pro™とコーディネートされた非常にコンパクトなデザイン。
- Windows XP、Vista（32ビット）、Windows 7(32ビットおよび64ビット)、Mac OS X(IntelMac)クラス・コンプライアント
- 高速USB 2.0対応
- Cubase、Nuendo、Samplitude、Logic Pro、Abelton Live用のMackieコントロール内蔵
- Pro Tool用の内蔵のMackie HUIプロトコル
- Sonarなど他社製DAW用ユーザー定義モード(MIDI学習)。
- USB接続とiMapソフトウェアで簡単にファームウェア・アップグレードが可能。
- Cubase、Nuendo、Samplitude、Logic Pro、Abelton Liveなど一般的な各DAW用テンプレートラベルを同梱
- USBバスパワー電源。
- MIDI機能マッピングに便利なiMap™ソフトウェアが同梱されています。
- Kensingtonロックポート付きの堅固なアルミニウム金属製筐体

上面パネルレイアウト

注意：DAWによって機能がわずかに異なることがあります。各機能についてはDAWの取扱説明書をご覧ください。ご使用のDAWに合わせて添付のラベルテンプレートを重ね合わせてください。以下の説明は、Apple Logic™の動作機能に基づいています。



① LCD背景照明ディスプレイ

4行表示のLCDディスプレイには、調整中のパラメータ値や、チャンネル選択や動作モードなどに関するフィードバックが表示されます。

② チャンネル/マスター・フェーダー

タッチ・センシティブ・モーター式フェーダーで、各チャンネルのパラメータが調整できます。2個の「フェーダー」シフト・ボタンを押すと、チャンネル間で移動できます。「マスター」ボタンを押すと、フェーダーで、マスター・チャンネルのパラメータが調整できます。

チャンネル・フェーダー

DAWのトラックの音量コントロールには、普通、100mmモーター式フェーダーを使用します。DAWによっては、「フリップ」ボタンでフェーダーの機能を切り替えて、別の設定に変更することができます。このフェーダーはタッチセンシティブですので、手を触れた瞬間に自動設定に割り込むことができます。また、フェーダーはモーター駆動式なので、DAWアプリケーションで選択したチャンネルの現在のレベルに応じて、自動的に移動します。プロジェクトの自動録音設定が、フェーダー位置に反映されます。フェーダーでパラメータを調整すると、そのすぐ上にあるLCDディスプレイに表示されます。

マスターフェーダー

これは、お使いのDAWソフトウェアのマスターチャンネルフェーダーをコントロールします。このフェーダーでパラメータを調整すると、そのすぐ上にあるLCDディスプレイに表示されます。

③ デュアル機能エンコーダー

デュアル機能エンコーダーは、押しボタンおよびロータリーコントロールとして作動します。

エンコーダーを押すと、動作モードを変更したり、チャンネルストリップ上のディスプレイの表示内容を変更することができます。エンコーダーを回すと、そこに割り当てられている機能に応じて、チャンネル間のパンニングや送信レベルやプラグインパラメータが調整できます。

④ コントロールボタン

4a) 録音チャンネルコントロールボタンセクション

REC (録音) ボタン - 対応するチャンネルの録音状態をオンオフします。チャンネルが録音状態になると、スイッチが赤く点灯します。

SOLO (ソロ) ボタン - 対応するチャンネルのソロ状態をオンオフします。チャンネルのソロ状態がオンになると、スイッチが緑色に点灯し、それ以外のチャンネルがミュートされます。

MUTE (ミュート) ボタン - 対応するチャンネルのミュート状態をオンオフします。チャンネルがミュート状態になると、スイッチが青く点灯します。青く点灯したチャンネルがミュートされます。

4b) モーター式フェーダーコントロールボタンセクション

FLIP (フリップ) ボタン - FLIPボタンを押すと、モーター式フェーダーとロータリーエンコーダー式つまみのパラメータ設定が入れ替わります。

フェーダー< ボタン - フェーダーのチャンネルが1つ上にシフトします。

フェーダー> ボタン - フェーダーのチャンネルが1つ下にシフトします。

BANK UP (バンクアップ) ボタン - 全部のフェーダーが、8チャンネル分、上にシフトします (マスターチャンネルを除く)。

BANK DOWN (バンクダウン) ボタン - 全部のフェーダーが、8チャンネル分、下にシフトします (マスターチャンネルを除く)。

⑤ ジョグホイールセクション

5a) ジョグホイール - ジョグホイールは、シャトルやスクラブ機能など、DAWアプリケーション固有の目的に使用されます。

5b) ズームコントロールボタンセクション

ズーム上/下ボタン - ズーム上/下ボタンは、DAWアプリケーションのグラフィカル・ユーザー・インタフェース (GUI) の上下方向へのナビゲーションに使用します。

ズーム左/右ボタン - 左/右ボタンは、DAWアプリケーションのグラフィカル・ユーザー・インタフェース (GUI) の左右方向へのナビゲーションに使用します。

ズーム・イン/アウト・ボタン - トラックを水平方向にズーム・インまたはズーム・アウトします。

ズーム・トラック - トラックを垂直方向にズーム・インまたはズーム・アウトします。

⑥ トランスポートコントロールボタンセクション

PLAY (再生) ボタン - DAWの再生機能を起動します。

STOP (停止) ボタン - DAWの停止機能を起動します。

REC (録音) ボタン - DAWの録音機能を起動します。

REWIND (巻戻し) ボタン - DAWの巻戻し機能を起動します。

FAST FORWARD (早送り) ボタン - DAWの早送り機能を起動します。

LOOP (ループ) ボタン - DAWのループ機能を起動します。

マーカー・ボタン - 次の各マーカー・モードを切り替えます。

微調整 - 微調整モードを切り替えます。

ドロップ - 「ドロップ」を切り替えます。

交換 - 「交換」を切り替えます。

ソロ - 選択されたトラックのトラック・ソロを切り替えます。

⑦ サブコントロールボタン

このセクションのコントロールボタンはDAWによって異なります。Qcon Liteは、Logic™を基にして設定されています。

(注意: 異なるDAWでは、ラベルが完全に一致するとは限りませんので、あらかじめご了承ください。)

7a) 割当セクション

トラック・ボタン - ソフトウェアのトラック・パラメータが起動します。

PAN/SURROUND/EQ/Send/Plug-in/Instrument ボタン - このボタンを押すと、それぞれ対応するDAW機能が起動します。これらは通常、ロータリーエンコーダーつまみと一緒に使用されます。ボタンを押すとそのランプが点灯します。ロータリーエンコーダーつまみを回して値を調整してください。その値は、すぐ上のLCDに表示されます。

7b) 自動化セクション

READ (読み込み) ボタン - READボタンを押すと、現在のオーディオトラックの読み込み機能が起動します。

WRITE (書き込み) ボタン - WRITEボタンを押すと、現在のオーディオトラックの書き込み機能が起動します。

7c) モディファイヤ (押下時の動作) セクション

シフト・ボタン - 第2機能に切り替わります。

オプション・ボタン - 全部のトラックに機能が適用されます。または、パラメータが最小/最大に設定されます。

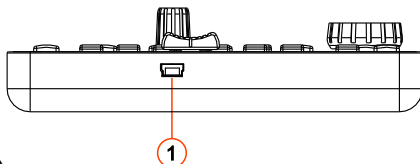
コントロール・ボタン - これを押している間、グループ・クラッチが起動します。

CMD/ALT - 微調整モードが起動します。パラメータ・ページが、1ページごとではなく、1パラメータごとにシフトします。

⑧ ディスプレイ・パラメータ・ボタン・セクション

名称/値ボタン - パラメータ名称表示とパラメータ値表示を切り替えます。

サイドパネルのレイアウト



① USBポート (Bタイプ)

対応ソフトウェアとノートPC (またはデスクトップPC) とのMIDIポートとして機能します。また、Qcon Lite の電源供給も行います。

使用法

Qcon Lite コントローラの接続

① USBポートを介してMac/PCにQcon Liteを接続する

お手持ちのMac/PCでUSBポートを選び、USBケーブルの幅広 (平ら) な端を差し込んでください。Qcon Liteに、ケーブルのもう一方の端を差し込んでください。

Mac/PCは自動的に新しいハードウェアを検出し、画面に使用可能になったことが表示されます。

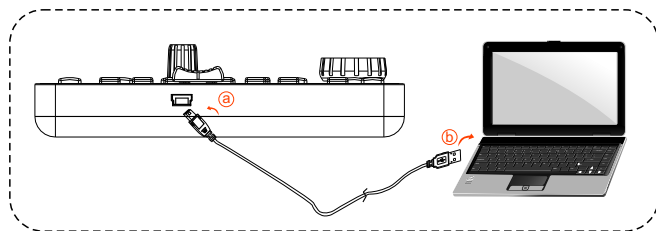


図 1



図 2

② モードの選択とQcon LiteへのMIDIメッセージの割当

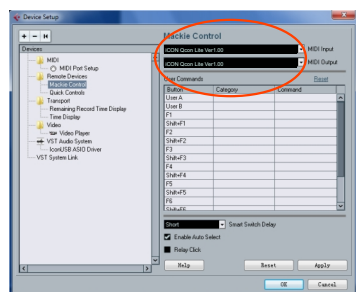
予めマッピングされているMIDIマッピングのプルダウン・メニューからMackie ControlモードかHUIモードを選択します。

MIDIの割当に合わせて「ユーザー定義」モードを選択してください。9ページの「iMap™ソフトウェアでMIDIメッセージを割り当てる」を参照してください。
ヒント：プル・ダウン・メニューで正しいDAWモードが選択されていることを確認してください。

③ DAWのセットアップ

DAWまたはMIDIソフトウェアの「MIDIセットアップ」または「MIDIデバイス」を使って、ICON Qcon Liteコントローラーを起動します。Logic™ Cubase™やNuendo™では、「デバイスリスト」から「Mackieコントロール」を選択してください。

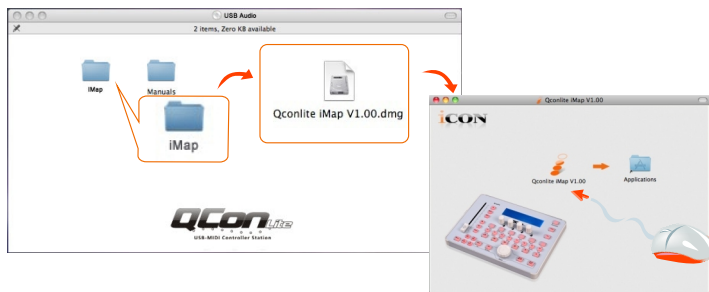
(注意：アプリケーションによって設定方法が異なることがあるので、設定についてはソフトウェアのユーザー・マニュアルを参照してください。)



Mac OS XにiMap™をインストールする

Mac OS Xをご利用の場合は、以下の手順でiMap™ ソフトウェアをインストールしてください。

- ① CD-ROMドライブにユーティリティCDを挿入し、「Qcon Lite iMap」アイコンをダブルクリックします。



ヒント：「Applications」フォルダに「Qcon Lite iMap」アイコンを「ドラッグ・アンド・ドロップ」すると、お使いのMacのデスクトップに「iMap」ショートカットが作成されます。

WindowsにiMap™をインストールする

Windowsをご利用の場合は、以下の手順でiMap™ ソフトウェアをインストールしてください。

- ① コンピューターの電源を入れます。
- ② ユーティリティCDを、お手持ちのコンピューターのCD-Romドライブに挿入します。

CDをCD-Romドライブに挿入すると、図1のインストール画面が表示されますので、「インストール」をクリックします。

(注：インストール画面が自動的に表示されない場合は、CDフォルダを開き、「Setup」という名前のアイコンをクリックしてください。)



図 1

- ③ セットアップ・ウィザードが表示されます。

セットアップ・ウィザードが表示されますので、「続行」をクリックしてください。



図 2

④ インストール先を選択します。

既定のインストール先のま
ま、あるいは好みのイン
ストール先を選択してから
「次へ」をクリックします。

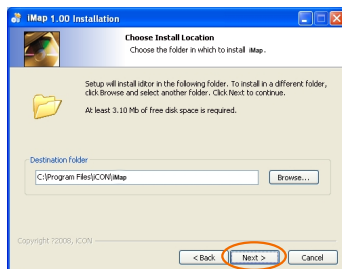


図 3

⑤ ショートカットを選択します。

iMap™のショートカット
を作成したいスタートメ
ニュー・フォルダを選択
します。「次へ」をク
リックして続行します。

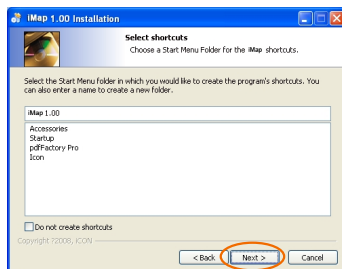


図 4

⑥ デスクトップにショートカッ ト・アイコンを作成します。

iMap™のショートカット・アイ
コンをデスクトップに作成した
くない場合は、チェックボッ
クのチェックを外してください。
それ以外の場合は、そのまま
「次へ」をクリックしてくださ
い。

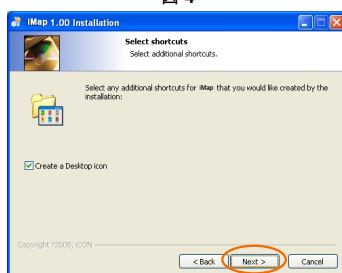


図 5

⑦ iMap™のインストールが開始さ れます。

これでiMap™のインストール
が開始されます。インス
トールが完了するまでお待
ちください。完了したら
「次へ」をクリックして続
行します。

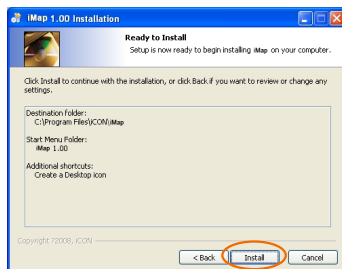


図 6

⑧ インストールを終了します。

「終了」をクリックして
iMap™ ソフトウェアのインス
トールを終了します。

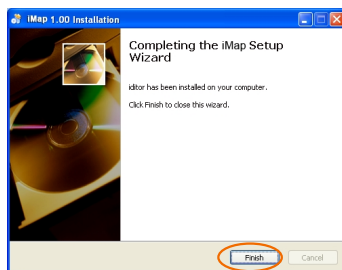
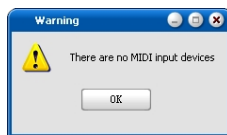


図 7

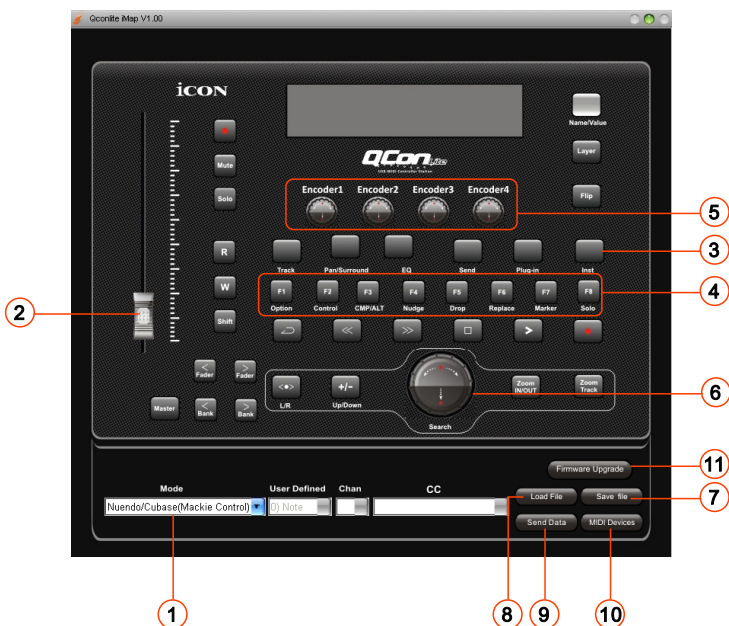
iMap™上でMIDI機能を指定する

iMap™を利用すると、MIDI機能を容易にQcon Liteにアサインすることができます。

ご注意：ご利用のQcon Liteがコンピューター（Mac/PC）に接続されていない場合、「MIDI入力デバイスがありません」というメッセージが表示されますので、Qcon LiteをUSBポートでコンピューター（Mac/PC）に接続してください。



iMap™ Qcon Liteソフトウェア・パネル



① モード・セクター

お使いのDAWに応じてMackie Control/HUIモードを選択するか、プルダウン・メニューからご自分でMIDIを割り当てる「ユーザー定義」モードを選択します。

ヒント：ご自分でMIDIをマッピングするには「ユーザー定義」モードを選択してください。また、Mackie Control/HUIモードにすると便利にセットアップできます。選択したDAW Mackie Controlモードによっては、F1～F8の機能が変更できます。

② フェーダーにMIDI機能を割り当てる (ユーザー定義モードのみ)

フェーダーに割り当てたい希望のMIDI機能を選択します。

③ コントロール・ボタンにMIDI機能を割り当てる

(ユーザー定義モードのみ)

コントロール・ボタンに割り当てたい希望のMIDI機能を選択します。

④ F1～F8の各ボタンにMIDI機能を割り当てる

F1～F8のボタンに割り当てたいMIDI機能を選択します。

注意：一部のDAW Mackie Controlモード (Liveなど) や HUI モードでは、F1～F8のボタンの機能を変更することはできません。

⑤ つまみにMIDI機能を割り当てる (ユーザー定義モードのみ)

つまみに割り当てたい希望のMIDI機能を選択します。

⑥ ジョグ・ホイールにMIDI機能を割り当てる (ユーザー定義モードのみ)

ジョグ・ホイールに割り当てたい希望のMIDI機能を選択します。

⑦ 「ファイルの保存」ボタン

このボタンをクリックして、現在のQcon Liteの設定を保存します。

保存ファイルの拡張子は「.qconlite」です。

⑧ 「ファイルを開く」ボタン

このボタンをクリックして、保存されたQcon Liteの「.qconlite」

設定ファイルを開きます。

⑨ 「データの送信」ボタン

このボタンをクリックしてiMap™ ソフトウェアの設定をUSB接続経由でQcon Liteに送信します。

(ご注意：Qcon Liteがご利用のコンピューターに接続されていなければなりません。接続されていない場合は送信出来ません。)

⑩ 「MIDIデバイス」ボタン

このボタンをクリックすると、図1のデバイス・セクター画面が表示されます。

MIDI Outデバイスで「ICON Qcon Lite」を選択してください。

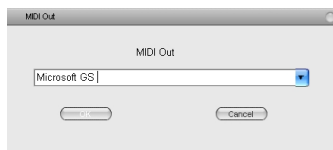


図1

⑪ 「ファームウェア・アップグレード」ボタン

このボタンをクリックすると、Qcon Liteのファームウェア・アップグレード・ウィンドウに進みます。ファームウェア・アップグレードの手順については、11ページをご覧ください。

ファームウェアのアップグレード



図 1

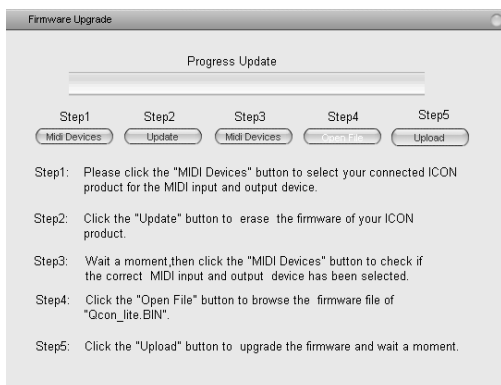


図 2

ステップ1：USBを介してICON製品を接続します。一番上にある「MIDI Device」ボタンを押し、プルダウン・メニューで「MIDI In and Out」デバイスとして、接続したICON製品を選択します。

注意：接続したICON製品のモデル名がプルダウン・メニューに表示されない場合、MIDI In and Outデバイスとして、「USB Audio」を選択してください。

ステップ2：「Update」ボタンをクリックします。

ステップ3：一番上にある「MIDI Device」ボタンを押し、プルダウン・メニューで「MIDI In and Out」デバイスとして、接続したICON製品を選択します。

ステップ4：「Open File」ボタンをクリックし、新しいファームウェア・ファイルを検索します。

ステップ5：「Upload」ボタンをクリックし、ファームウェアをアップロードします。

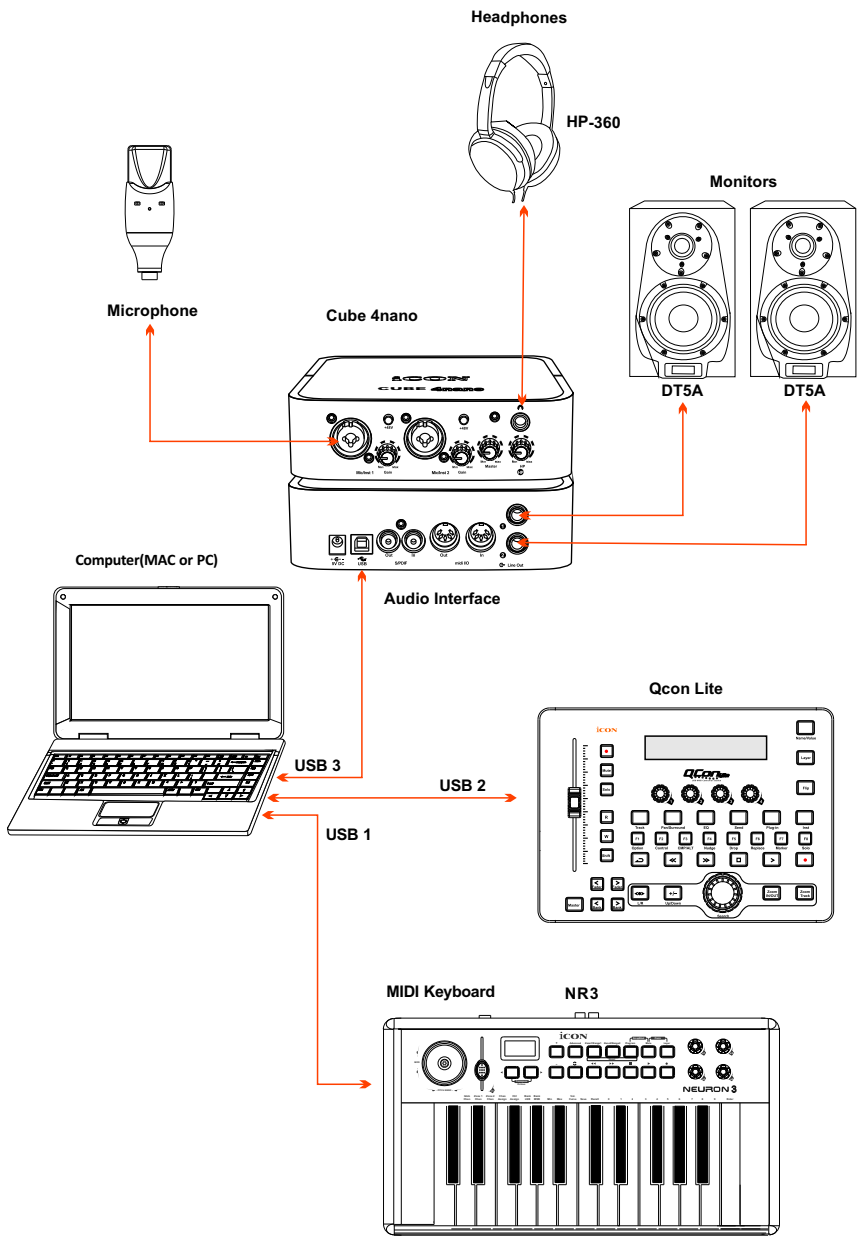
警告：ファイルのアップロード中は、ファームウェアのアップロード・プロセスを中断せずに完了してください。さもないとファームウェアが再書き込みできなくなります。

デフォルト工場設定に戻す

Qcon Liteの設定をデフォルト工場設定に戻すには、Qcon Liteに、iMapソフトウェアのオリジナル設定である「Factory Default」設定をインポートしてください。

接続方法

Qcon Lite
USB-MIDI Controller Station



製品仕様

Connector:	USB connector (standard type)
Power supply:	12V/6A DC
Current consumption:	3A or less
Weight:	0.9g (2.0lb)
Dimensions:	248(L) X 179(W) X 26(H) 9.8”(L) x 7.0”(W) x 1.0”(H)



修理について

本製品の修理が必要な場合は、以下の手順に従ってください。

1. 問題の原因が誤操作や外部システムデバイスではないことを確認してください。
2. 弊社にて修理の際、本書は不要ですので、お手元に保管してください。
3. 同梱の印刷物等や箱など、購入時の梱包材で本製品を梱包してください。梱包材がない場合は、必ず適切な梱包材で梱包してください。工場出荷時の梱包材以外の梱包材が原因で発生した損害について、弊社では責任を負いかねます。
4. 弊社サービスサポートセンターまたは地区内の正規サービスセンターに本製品を送付してください。

アメリカ事務所

ICON Digital Corporation
8001 Terrace Ave., Suite 201
Middleton, WI, 53562
USA

アジア事務所

ICON (Asia) Corp.
Unit 807-810, 8/F., Sunley Centre,
No. 9 Wing Yin Street, Kwai Chung, NT.,
Hong Kong.

5. その他更新情報は、弊社ウェブサイト (www.icon-global.com) をご覧ください。



iCON®
www.icon-global.com
info@icon-global.com

